

年頭のごあいさつ

ヒヨコ登山会会員の皆様、ご家族の皆様、
明けまして おめでとうございます。
新年をお健やかに迎えのことに存じ
心よりお慶びを申し上げます。



平成 30 年 戌年 元旦

会 長 吉野 宏

旧年私達の会は創立 95 周年という節目の年を目出度く迎え、そして、**会員各位のご努力、ご協力により、計画いたしましたすべての行事を無事終えることが出来ました。**年頭にあたり、まずは心より御礼を申し上げる次第です。

主な行事を振り返りますと、第一に、私達の会が誕生した再度山大龍寺山門下・善太郎茶屋跡地に「**神戸ヒヨコ登山会発祥の地のレリーフ**」を建立したことです。一万回を称えるネーム版や一万回石塔、50 周年の記念名版などがあっても、**肝心のヒヨコが産声を上げた地を示すものが無かったことに気付き、会員の皆さんはもちろん、これからヒヨコに入会される新しい仲間や、又、再度山を訪れるハイカーの皆さんたちにも、ヒヨコ登山会の存在を知って頂く上で必要と考え、役員会に諮った上で主旨賛同を得、建立したのです。**

レリーフお披露目の当日は、大龍寺・井上ご住職によるレリーフ開眼仏事が執り行われ、新人サークルメンバーを中心のコーラス隊による祝歌などによって式典は最高に盛り上がりました。

第二は、昭和 32 年の創立 35 周年時から 5 年毎に行っているヒヨコ会員物故者の追悼法要「**物故会員慰霊祭**」を執り行いました。ヒヨコの菩提寺である大龍寺での追悼法要には、5 年間に逝去された会員のご家族 11 名と、77 名の会員が列席され、広い本堂は満杯。改めてヒヨコ登山会の伝統である「**会員の絆**」を強く感じた行事となりました。

この二つの行事については、昨年の会報 10 月号に詳しく報告させて頂いておりますので検め、お目通し下されば幸いです。尚、二つの行事については**神戸新聞の紙面に大きく取り上げられ、95 周年事業のあしあとを立派に残すことが出来た**と思います。

その他、95 周年記念事業としては、**上信越高原国立公園まで足を延ばしたヒヨコ夏山**を含め、12 月初旬に予定している忘年登山「**九州・由布岳登山**」を入れて **6 つの記念例会**を実行することが出来ました。改めて会員各位に御礼を申し上げます。

さて、すでに 6 年前となりますが、**90 周年式典で皆様と誓った「共に迎える 100 周年」**へは、各山筋に於ける**毎日登山や例会参加**で感じられるように、**会員各位の熱意とご努力**によってその道のりを着実に歩み進んでおります。新しくヒヨコの仲間になられた皆さんは、先輩諸氏の元気な後姿に刺激を受けて育ち、そして**ヒヨコを継承**していくのです。世は高齢化に甘んじていますが、**～「信念」と「自信」と「希望」を抱き続ける限り、何時までも若く、その人に老いは訪れ無い！～** ことを念頭に置き、今年も共にがんばって頂きますことを切にお願いし、年頭のご挨拶といたします。

追記

私たちの会は心身の健康を求め、背山の毎朝登山に始まった登山会です。考えますと、若い時は、只がむしゃらに人よりも早く「歩く」「登る」ことが心身の鍛練と考えていましたが、それは大きな間違いで、なるほど肉体は丈夫になるでしょうが、**知力が左右する心の鍛錬がおごそかになっていたことは否めません。信念と自信と希望を抱くためには肉体の鍛錬もさることながら、知力を養い、心豊かになることも大切です。**そんな思いを含め本年より、会員各位のお知恵やコラム、得意とされるものなど自由に楽しい投稿を頂く「文化部」と称したページを設けます。皆さん、どしどし投稿して頂きます様お願い致します。